

地域でみんながふれあい支えあって自分らしく安心して暮らせるまちづくり

けせんぬま 社協だより

№ 118 2025.10.1

発行 / 社会福祉法人
気仙沼市社会福祉協議会



気仙沼市東新城 2-1-2
TEL 0226-22-0709
FAX 0226-22-4467



ほんの小さなやさしさを 広げる大きな支援の輪



10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。
今年も皆様のあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

(写真は令和6年度実施分より一部掲載)





気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

ばあばをいやすたび

月立小学校一年 菅原 桜

なつやすみに、かぞくでばあばをいやすたびにでかけました。いきさは、まえにもとまったことがあるおなじみのおんせんです。

うで、けしきをみながらのおしゃべりは、ばあばのにこにこがおがたくさんみられました。だから、ぼくもさいこうにたのしかったです。

どうしてたびにいくことにしたかというと、じいじはしごとでいろんなところにでかけられるけれど、ばあばは、うちのなえぎでんのしごとをしたり、みんながたべるやさしいをつくったりして、なかなかでかけられないからです。たまにはおでかけして、たのしいきぶんになってほしいとおもいました。

それから、おんせんにはいったあとのばあばのかおをみたら、ゆったりしていて、ちよつとつかれがとれたかなとおもって、またうれしくなりました。

おんせんのごちそうは、どれもおいしくて、ばあばもおいしいながらたべていました。みんなでたべるとくべつなあげがして、ぼくももりもりたべました。ばあばのたのしそくにわらっているかおや、しあわせそうなかおをみて、

「よし、だいせいこうー」

去る9月10日、敬老作文審査会を開催しました。

市内の小学校より49点のご応募をいただき、元教員、福祉関係者などの審査員9名により厳正なる審査を行い、最優秀賞6点、優秀賞18点が選ばれました。

今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

と、こころのなかでさげびました。

ぼくのばあばは、とってもげんきです。でも、もしこれからあるくのがむずかしくなっても、ぼくはばあばをおんぶして、いっしょにたびをつづけていきたいとおもって

います。こんどは、マッサージをしてあげようか、おすめのりようりをしようかいし

ぼくのおばあちゃんは

スーパーヒーロー

新城小学校二年 新野 真絆

ぼくのおばあちゃんは、おりょうりがとてもじょうずです。たくさんおしゅるいのおりょうりを作って、おみせでうっています。

おばあちゃんのおりょうりの中で、ぼくがとくにおすすめしたいのは、「なべやき」です。

できあがったしょうひんをはこんだりました。

ぼくがいないときは、おばあちゃんが一人でやっているの、たいへんだしすごいなあと思いました。なるべくぼくがお休みの日は、おてつだいをしたいと思いました。

つぎに、ぼくとおばあちゃんのおはなしをします。ぼくが学校からかえるとき、おばあちゃんがむかえにきてくれます。かえりみちでは、学校であつたできごとをはなします。いいことがあつたときや先生にほめられたはなしをすると、たくさんほめてくれます。はんたいに、かなしいことやつらいことがあつたときは、ぼくよりなぜかおこつています。そんなおばあちゃんをみると、わらってしまします。いつのまにか、いやなきもちもなくなります。そんなおばあちゃん、ぼくのスーパーヒーローです。

おばあちゃん、いつもありがとう。これからも、元気でいてね。あと、あしをたいせつにしてね。



わたしに宇宙をくれた おばあちゃん

九条小学校三年 藤木 凜緒

「わたしも、算数がとくいだつたら、天文学者になったかったのにな。」

一年生の時、おばあちゃんの子どものころのゆめについて聞いたことがあります。その時に話された答えでした。

おばあちゃんは、空のしやしんをとるのがとても大好きな人です。朝早くおきて、朝日がのぼるしやしん、夕方には、夕日のしやしんや、月や星のしやしんをとっていました。

そんなおばあちゃんから、天文学者という言葉を知り、とてもきょう味がわきました。天文学者とは、どんな仕事をするのか調べました。

すると、宇宙や星のけんきゅうや、新しい星の発見などをするの分かりました。わたしは、調べるうちにどんどんわくわくしてきました。おばあちゃんはとてもすてきなゆめがあつたんだと思いました。それから、おばあちゃんと

いっしょに星を見に行くようになりました。夏の夜空を見て、「あれは夏の大三角つていうんだよ。」冬の日には「あれはオリオンざだよ。」とたくさん星を教えてくださいました。おばあちゃんといっしょに星を見る時間がふえて、とても楽しい毎日でした。

そんなおばあちゃんは、くも膜下出血で、とつ然なくなりました。「おやすみなさい」が、わたしとおばあちゃんのさいごのお話になりました。

もつといっしょに星を見に行きたかったな。もつとたくさん宇宙のことを教えてほしかったな。わたしは、かなしくてたまりませんでした。

おばあちゃんがなくなった後に、おばあちゃんになりたかったゆめを思い出しました。いつか、わたしが天文学者になって、おばあちゃんのゆめをかなえようという気持ちになりました。

それから、おばあちゃんが苦手と話していた、算数のべんきょうをがんばるようにしました。お母さんが休みの日には、いっしょに星を見に行くようになりました。

おばあちゃんといっしょに星を見に行くことは、もうできませんが、おばあちゃんと見た星空をわすれることはありません。

わたしに、宇宙や星を教えてくださいました。おばあちゃんが見たかった、たくさん星を、わたしもいつか見てみたいと思いました。おばあちゃんの教えてくれた宇宙のことを活かしてもつと宇宙のことをべんきょうをしていきたいです。

おばあちゃん、今年の夏休みはJAXAを見学してきました。H3のロケットは、とても大きくて長くて、しやしんで見るよりもピカピカ光ってきれいだったよ。わたしも宇宙ふくをきて、あこがれの野口そう一さんみたいに宇宙をたんけんしたいな。おばあちゃんにくれた宇宙は、わたしの心の中で今も広がっています。

優秀賞

- だいすきなおばあちゃん「よおちん」 九条小一年 加賀 桃心
- さいこうのじいじ 松岩小一年 三浦 寧
- ぼくのスーパーじいじ 唐桑小一年 伊藤 奏汰
- ひいおばあちゃんに会いに行つたよ 九条小二年 前田 葵結
- ひいおばあちゃんとはく 鹿折小二年 芳賀 葵志
- わたしのおじいちゃん 面瀬小二年 渡邊 菜央
- おばあちゃんの合図 新城小三年 弘瀬 誉典
- じいじとぼくのたから物 津谷小三年 菅原菜葵翔
- ぼくの気持ち 大谷小三年 米倉 悠人
- 自まんのひいばあちゃん 鹿折小四年 西條 朝陽
- 大好きなのんちゃん 松岩小四年 加藤 佑実
- ぴいぴの帰りをまつてるよ 面瀬小四年 山内 友里
- ちいばあばへ 九条小五年 小野 千花
- じいじへ 鹿折小五年 村上 侑梨
- 元気でいてね、おじいちゃん 新城小五年 弘瀬 敏蒼
- ぼくの元気のみなもと 気仙沼小六年 菅原 昂
- ぼくが今、おばあちゃんにできること 新城小六年 永野 凜夢
- おじいちゃんの日常 面瀬小六年 熊谷 純花



グループホームの おじいちゃんとおばあちゃん

気仙沼小学校四年 小野寺 結 奏

私のお母さんは、グループホームのしせつで働いています。グループホームは、認知症のおじいちゃんやおばあちゃんがいるしせつです。

お母さんの働いているしせつに連れて行ってもらったことがあります。その時に、なぜ、おじいちゃんとおばあちゃんがこのしせつにいるのかふしぎでした。そんな時に、一人のおじいちゃんに私の名前を聞かれたので答えました。しかし、数分後には、私の名前をわすれていて、また同じことを聞かれました。私は、さつき教えたのになんで聞くんだろうと思いました。私がまた名前を教えると、そのおじいちゃんは、笑顔で私に話しかけてくれました。

グループホームに行ってみ

り、今までできていたことが自分でできなくなったりしてしまうことなど、「にん知症」について少しだけ分かったこともありました。

調べた後にお母さんと話し合いました。おじいちゃんやおばあちゃん達は、私たちよりずっと前から生きていて、たくさんのお話を経験した大先輩なんだということをお母さんが教えてくれました。「にん知症」という病気で同じことを何度も言ったり、周りに見れば変な人と思われるかもしれないけれど、長い時間いろいろな経験をした大先輩なんだということが分かりました。

この次にお母さんの働いているグループホームに行った時には、今度は、私がたくさんのお話を聞きたいとお話をしていました。

◆令和7年度敬老作文講評◆

1・2年生

祖父母への「大好き」という気持ちが、素直な言葉でいきいきと表現されていました。一緒に過ごす時間や、教えてもらったことを大切にすることが伝わり、読んでいてあなたがい気持ちになりました。また、家族みんなで祖父母を思いやる姿とても印象的でした。

3・4年生

家族から受けた愛情に感謝し、自分もやさしくしたいという思いがしっかりと表れていました。3年生は自由な表現が目立ち、4年生は落ち着いた文章でまとめられていたのが印象的です。近くにいてこそそのものどかさや、離れているからこそのやさしい気持ちなど、子どもたちの素直な心が感じられました。

5・6年生

祖父母との思い出や近所の高齢者との関わりをまとめた作品のほか、手紙文で亡くなった祖父母に呼びかけているものや祖父の仕事の内容を詳しく調べたものなど、作品づくりに工夫が見られました。

エピソードや感想に加え、祖父母との関わりから得た気づきや学びをもとに、新たに感じた自分の思いなどを表現するとより深みのある作品になると思います。

どの作品からも、祖父母や身近な高齢の方々への感謝や思いやりの気持ちが伝わってきました。

これからも、人とのつながりを大事にしながら、自分の思いや考えを言葉にしていける力を育ててほしいと願っています。来年もまた、心温まる多くの作品と出会うことを楽しみにしています。





ばあばの笑顔のために できること

松岩小学校五年 三^み浦^つ 翠^{すい}

ぼくのおばあちゃんはベツ
ドの上でねたきりの生活で
ます。

す。でもよく笑います。ぼく
たち孫とあく手をするのが大
好きです。朝の「おはよう」
の時、ぼくが小学校へ出発す
る「いってきます」の時、ぼ
くが小学校から帰ってきた
「ただいま」の時、ねる前の
「おやすみなさい」の時、お
ばあちゃんのいる部屋がげん
関のすぐ近くなので、必ず
「翠君、あく手！あく手！」
と手をのばしてきます。急い
でいるときは、少し面どうく
さいなと思う時も、あく手を
するとすぐ笑顔になってく

るので、ぼくも笑顔になり
ます。
この前、夕方のテレビ番組
を見ていたときに「ヤングケ
アラー」という言葉を初めて
聞きました。テレビの内容が
むずかしくてよく分からな
かったので、夜にお父さんに
言葉の意味を聞いてみました。
「お父さん、ぼくたちもヤン
グケアラーなの？」
ぼくのうちでは、2、3時
間に1回、3人兄弟のどれか
手の空いている人が、おばあ
ちゃんのおむつの確にんをし
ています。もしおむつがよご
れていたら、お父さんかお母

さんをよびに行きます。ぼく
の役目はここまでで、おむつ
の交かんは、お母さんやお父
さんがしてくれます。ぼくも
最初のころは、よごれている
おむつを見るのがいやだった
けど、おむつ交かんが終わっ
たおばあちゃんは笑顔で、
「翠君ありがとうね」
と言ってくれるので、段々い
やではなくなりました。きっ
と、おむつをきれいにしてい
けると気持ちが良いのだと思
います。

「お父さんも、自分のおじい
ちゃんのおむつ交かんとかし
てたから、ヤングケアラー
だったのかな。」
と笑いながら言っていまし
た。そして、
「おじいちゃんの笑顔が見た

かったから、いやじゃなかつ
たけどなあ、翠はいやだった
らやらなくてもいいよ。」
とも言っていました。

ぼくはすこし考えてみまし
た。

よごれたおむつはくさい
し、きたないし、もし服につ
いたらすごくいやです。服に
ついたのを気づかないで、学
校に行ってしまったら、友達
にきられるかもしれません。
でも、ぼくは気づきました。
おむつをきれいにしたあとの
おばあちゃんの笑顔はとて

やさしい顔だから、何回でも
見たいし、その後あく手もし
てあげたいなということ。

ぼくは、夏休みにパソコン
でヤングケアラーの言葉の意
味を調べてみました。そこに

は「本来大人が行うべき家事
や家族の世話を日常的に行っ
ている子どものこと」と書い
てありました。ぼくにあっては
まるかなと思ったけど、やつ
ぱりちがうなと思いました。
だってぼくはおばあちゃんの
笑顔が見たいから、このお手
伝いをしているし、おばあ
ちゃんとあく手をしたいたから
部屋まで行って声をかけてい
るからです。

おばあちゃん、これからも
長生きして、ぼくに笑顔を見
せてください。





じっちへ

月立小学校六年 西^{さい}城^{じょう}旺^{おう}駕^が

じっち、今どこにいますか。ちとハイタッチしました。

きつと、もうどこにでも行け

じっちがよく

るようになって、大好きだっ

「大駕は運動神経が良いし、

たお出かけを楽しんでいるの

足も速いから、良い選手にな

でしょうね。大好きなおすし

れるぞ！」

のえんがわや貝をおなかいつ

と言ってくれたことを思い出

ばい食べて、いつも応援して

して、胸がジーンと熱くなり

いた巨人の試合を、特等席で

ました。

見ているのかなと想像してい

実はぼく、最近野球がどん

ます。そんな姿を思い浮かべ

どん大好きになつてきてい

ると、少し笑顔になれるけど、

て、毎日お兄ちゃんとキャッ

やっぱり会えないのはさみし

いです。

この前、お兄ちゃんが練習

試合でヒットを打ちました。

空から見ていてくれたかな。

あの時、ぼくは心の中でじっ

ちボールをしています。中学

校に入ったら野球部に入り、

ピッチャーをやりたいです。

じっちは昔キャッチャーだっ

たから、本当はいろいろ教え

てもらいたかったなあと思っ

ています。じっちとキャッチ

ボールして、

「ここはこう投げろ。」

って言ってもらえたら、どん

なにうれしかっただろうと思

います。

この前、倉庫でじっちのグ

ローブを見つけた時は、うれ

しくて、なみだが出そうにな

りました。お兄ちゃんと磨い

て、こわれたところはお店で

直してもらって、今はぼくが

大切に使っています。もちろ

ん、じっちに買ってもらった

グローブやバットも宝物で



す。手入れをして、素振りを

して、練習をがんばっていま

す。道具を使うたびに、じっ

ちと一緒に野球をしている気

持ちになります。

来年はいよいよ中学生で

す。スタメンに入れるように、

今から練習をがんばっていま

す。もっと速い球を投げられ

るように工夫して、強いピッ

チャーになりたいです。空の

上から

「がんばれ。」

と応援してくれていると信じ

ています。じっちの優しい声

は、今でも心に残っています。

じっち、ぼくはこれからも

努力を続けます。じっちに安

心してもらえるように、そし

てほこってもらえるように、

一生けん命がんばります。ぼ

くの夢をこれからも見守って

いてください。



審査会の様子



無料弁護士相談会 開催のお知らせ

- 1 日時 令和7年11月20日(木)
午前10時30分～午後3時30分
- 2 場所 気仙沼市社会福祉協議会
(気仙沼市東新城2丁目1-2)

借金、遺産相続、離婚問題など、法律に関する
ご相談に弁護士が対応します。

相談は無料です。どうぞお気軽にご利用ください。

- 3 申込み 予約制です。事前に電話でお申込み
ください(先着5名程度)。
- 4 その他 弁護士は仙台弁護士会から派遣され
ます。
- 5 問合せ・申込先 市社協 電話 22-0709

24時間テレビ48 「愛は地球を救う」

チャリティー募金へのご協力 ありがとうございました

本会窓口でお預かりしました募金は、
福祉施設への車両の贈呈
や障害者スポーツ支援、
環境保全活動、国内外で
発生した災害からの復興
支援等に活用されます。



12月3日～9日は障害者週間

【ユニバーサル交流会】を開催します

■日にち：12月6日(土)

■場所：市民福祉センター やすらぎ

交流を通じて障害について正しく「知り」、みんなで「つな
がる」。そのつながりが「支えあう」地域づくりの第一歩に！
障害があってもなくても、誰でも気軽に参加できるイベント
です。

ぜひ、友だちや家族、ご近所さんと遊びにきてね☆

※詳細は、決まり次第ホームページやLINE、12月の社協だより
でお知らせします。お楽しみに！

気仙沼市共同募金委員会 新体制のお知らせ

令和7年8月に実施された役員改
選により、新しい運営委員体制がス
タートしました。

同委員会は、地区社協や自治会連
絡協議会のほか福祉関係団体から選
出された33名で構成され、その中
から会長1名、副会長2名が新たに
選任されました。今後も、赤い羽根
共同募金をはじめとした地域福祉活
動を、関係団体の皆さまと協力しな
がら進めてまいります。

【新役員体制】(敬称略)

会長：内 海 勝 行
副会長：佐 藤 弘
副会長：藤 村 美代子

赤い羽根に関するお知らせ ～赤い羽根からありがとうシールへ～

これまで世帯募金へのご協力のしるしとして「赤い羽根」を
お渡ししていましたが、近年、動物への配慮や環境に優しい取
り組みが重視されるようになってきたことから、今年度より、
「ありがとうシール」に変更することになりました。

なお、10月1日から市内各所
で予定されている街頭募金運動で
は、在庫として保有している「赤
い羽根(針タイプ・シールタイプ)」
を引き続き使用し、併せて「あり
がとうシール」もご用意いたしま
す。

これからも、皆さまの温かい善
意を大切にしながら、より持続可
能な募金活動を進めてまいりま
す。

引き続き、ご理解とご協力をよ
ろしくお願いいたします。

募金ありがとうシール

皆さまからお寄せいただいた募金は、宮城県
内の地域福祉の推進を図るため、社会福祉施
設の整備やNPO・市民活動団体などの活動資
金に活用されるほか、大規模災害発生時の災
害ボランティアセンターの運営費等に役立て
られます。



ご協力ありがとうございます
社会福祉法人 宮城県共同募金会



10月1日より全国一斉にスタート！

赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします

今年の赤い羽根募金目標額は
7,740,000円です

共同募金は、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を進めるために必要な、住民団体やボランティア等による地域福祉活動を支援します。

また、災害時には「災害ボランティアセンター」設置や運営などにも使われます。



令和6年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額
7,706,011円

内訳

毎戸募金	6,981,150円	学校募金	76,974円
個人募金	22,134円	法人募金	42,463円
職域募金	22,695円	その他	560,595円

令和6年度に市民の皆様からお寄せいただいた赤い羽根募金のうち、令和7年度は気仙沼市社会福祉協議会が行う下記の地域福祉活動に活用されます。

配分額 2,922,011円

配分内容 市社協だより、ホームページ運営、敬老作文コンクール、高齢者交流事業、児童福祉施設等への歯ブラシ贈呈事業、災害ボランティア講座、ガイドヘルパー（ボランティア）派遣事業等に配分



【ガイドボランティア養成講座】



【災害ボランティア講座】

宮城県共同募金会からのお知らせ 「むすび丸ピンバッジ募金」

今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とコラボした「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。

第13弾となる今回は、生活困窮世帯の新入学児童を対象とした「ランドセルを贈ろうプロジェクト」に活用します。



数量限定で進呈しますので、皆さまからのご協力をよろしくお願いいたします。



今年も温かいご支援とご協力をお願いいたします



赤い羽根共同募金

気仙沼市共同募金委員会

(☎22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

ご意見・ご感想など、お待ちしております。
TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467

ホームページ：<https://kesennuma-shakyo.jp/>
E-mail：keshakyo@watch.ocn.ne.jp